

日本英学史学会中国・四国支部 年表稿 (2006～2016)

事務局編

《平成 18 年 (2006)》

1 月 12 日 『ニューズレター』 No.45 を発行。この号より年始発行の冒頭ページに支部長挨拶を掲載。

5 月 5 日 『ニューズレター』 No.46 を発行。

5 月 27 日 支部総会を開催。

5 月 27 日 第 1 回 (通算 54 回) 研究例会を広島県立生涯学習センターにて開催。

研究発表

①田村道美 (香川大学) 「漱石と Cassell's National Library (2)—A. Pope, *Poems: 1700-1714* の書き込みを中心に—」

②風呂 鞏 (比治山大学) 「Literary Assistant としての大谷正信」

5 月 27 日 『英学史論叢』 第 9 号 (通巻 29 号) を発行。研究論考, 研究ノートは次の 7 編。付録として妹尾啓司文庫目録を掲載。

<研究論考>

松村幹男 「永原敏夫の英語教育研究」

佐光昭二 「伊藤俊介と高橋顯正の英学修業 (中四国英学史話 その 1)」

竹中龍範 「高等小学校英語教員に求められた英語力」

田村道美 「漱石と The Lotus Library (2) —*La Faustin* の書き込みを中心に—」

松村幹男 「広島英語教育研究所とその活動—終戦前 12 年の軌跡: 年表を中心に—」

保坂芳男 「明治期における山口の英語教師 (1) —国木田独歩—」

<研究ノート>

隈 慶秀 「英語授業視察復命書と奥太郎—明治 30 年代英語教育史研究 (2)—」

7 月 28 日 『ニューズレター』 No.47 を発行。

11月10日 『ニューズレター』No.48を発行。

12月2日 第2回(通算55回)研究例会を香川大学教育学部にて開催。

研究発表

①保坂芳男(立命館大学)「岩国英国語学所に関する研究(1)—教師ステーベンスとその教え子たち」

②竹中龍範(香川大学)「オーラル・メソッド—もう一つの実践」

◇第43回全国大会は、2006年10月21日～22日、東京都台東区民会館にて開催。

本支部所属会員の研究発表は次の通り。

寺田芳徳「海軍教育における英学書籍の運命再考—旧海軍兵学校転用図書・東郷文庫の視点による文化資源考証の事例」

竹中龍範「J. M. Dixonの英熟語辞典をめぐって」

馬本 勉「広島中學校『英語之基礎』について」

◇『英学史研究』第39号(2006年10月1日発行)に掲載された本支部所属会員の論考は次の通り。

田村道美「漱石と Cassell's National Library (2)—A. Pope, *Poems: 1700-1714*の書き込みを中心に」

《平成19年(2007)》

1月27日 『ニューズレター』No.49を発行。

4月30日 『ニューズレター』No.50を発行。

5月26日 支部総会を開催。平成19・20年度役員は次の通り。

支部長 竹中龍範

副支部長 田中正道・田村一郎・田村道美

顧問(相談役) 定宗一宏・寺田芳徳・松村幹男

顧問 五十嵐二郎・小泉 凡

理事 上杉 進・小篠敏明・河口 昭・築道和明・能登原昭夫

深澤清治・風呂 鞏・村端五郎・松岡博信(会計担当)

事務局長 馬本 勉(紀要担当兼務)

幹事 能登原祥之

会計監査 鉄森令子・山本勇三

5月26日 『英學史論叢』第10号(通巻30号)を発行。研究論考, 研究ノートは次の7編。妹尾啓司先生・江川義雄先生追悼。「日本英学史学会広島支部及び中国・四国支部年表稿」「『英學史會報』・『英學史論叢』30年のあゆみ」を掲載。

<研究論考>

佐光昭二「毛利元功ら縉紳家洋行事始(中四国英学史話 その2)」

竹中龍範「オーラルメソッド—もう一つの実践—京都府立福知山中学校の場合—」

保坂芳男「岩国英国語学校教師ステーベンスに関する研究—採用経過、契約を中心として—」

田村道美「漱石と The Lotus Library (3)—A Woman's Soul の書き込みを中心に—」

<研究ノート>

松村幹男「明治期英語授業史へのアプローチ」

五十嵐二郎「山口喜一郎著『日本語教授原論』(昭18年)と Gouin Method」

隈 慶秀「英語授業視察復命書と奥 太一郎 その2—明治30年代英語教育史研究(2)—」

5月26日 第1回(通算56回)支部研究例会[支部発足30周年記念例会]を比治山大学にて開催。

特別講話

定宗一宏(初代支部長・広島文化短期大学名誉教授)「支部創設の頃を振り返って」

講演

伊藤弘之(熊本大学名誉教授)「Dickens, *American Notes* (1842) について」

シンポジウム「これからの英学史研究」(コーディネーター: 田中正道)

パネリスト

隈 慶秀(福岡県立明善高等学校)

中舛俊宏(広島県立広島高等学校)

馬本 勉(県立広島大学)

コメンテーター 寺田芳徳(比治山大学名誉教授)

松村幹男(広島大学名誉教授)

8月20日 『ニューズレター』No.51を発行

10月30日 『ニューズレター』No.52を発行

12月8日 第2回(通算57回)研究例会を山口大学教育学部にて開催。

研究発表

①能登原昭夫(元山陽学園大学)「岡山英学史から見た岸田吟香」

②保坂芳男(立命館大学)「岩国英国語学所の生徒たちの進路に関して—教師ステー

ベンスの影響に焦点をあてて」

③村端五郎（高知大学）「Apple はリンゴ（林檎）に非ず—英和辞書における Apple 訳語の変遷について」

◇佐光昭二氏がこの年に出版された『阿波洋学史の研究』（徳島県教育印刷，2007年）で日本英学史学会賞「豊田實賞」を受賞。

◇第44回全国大会は，2007年10月20日～10月22日，桃山学院大学にて開催。本支部所属会員の研究発表は次の通り。

松村幹男 「『英学月報』について—昭和戦後期英語教育史寸描」

馬本 勉 「広島中學校『英語之基礎』における語彙選定」

◇『英学史研究』第40号（2007年10月1日発行）に掲載された本支部所属会員の論考は次の通り。

竹中龍範 「J. M. Dixon の英熟語辞典をめぐって」

《平成20年（2008）》

2月2日 『ニューズレター』No.53を発行。

4月30日 『ニューズレター』No.54を発行。

5月24日 支部総会を開催。

5月24日 『英学史論叢』第11号（通巻31号）を発行。研究論考および研究ノートは次の5編。このたびの号より新しい標準書式に改めた。

<研究論考>

保坂芳男 「岩国英国語学所の卒業生の進路に関して—教師ステーベンスの影響に焦点をあてて—」

松村幹男 「英語学習史の視座」

松村幹男 「『英学月報』について—昭和戦後期英語教育史寸描—」

<研究ノート>

田中正道 「井上通信英語学校の月刊雑誌 *English*」

隈 慶秀 「明治31年の第五高等学校における尋常中学校協議会議事録—英語教育史資料としての観点から—」

5月24日 第1回(通算58回)研究例会を広島県立生涯学習センターにて開催。

研究発表

- ①田中正道(兵庫教育大学名誉教授・広島大学名誉教授)「昭和初期のラジオ『受験講座』」
- ②上杉 進(元 高水高等学校)「志士たちの洋学」
- ③能登原昭夫(元 山陽学園大学)「吟香余聞」

8月1日 『ニューズレター』No.55を発行。この号より毎号の冒頭ページにエッセイを掲載。

11月11日 『ニューズレター』No.56を発行。

12月13日 第2回(通算59回)研究例会を福山大学社会連携研究推進センター(宮地茂記念館)にて開催。

研究発表

- ①山田宗八(山田共学道場)「生麦事件の一考察：薩英戦争の歴史的意義をさぐる」
- ②田中正道(兵庫教育大学名誉教授・広島大学名誉教授)「昭和初期のラジオ『夏期英語会話講座』」
- ③馬本 勉(県立広島大学)「妹尾啓司文庫にみる広島の英学」

◇第45回全国大会は、2008年10月25日～27日、「フェートン号事件200年」を記念し、長崎大学にて日本英語教育史学会(第24回全国大会)と共催。本支部所属会員の研究発表は次の通り。

寺田芳徳「長崎(日本)滞在中の見聞」(フェートン号)が伝えるもの—海軍と英学の視点から—

松村幹男「英語教授」と「英語教育」—用語の推移について—

馬本 勉「森 修一と庄原英学校」

隈 慶秀「ガイガー女史による英語教育講習会—昭和20年代英語教育史—」

竹中龍範「開成所『英吉利單語篇』と『對譯名物圖編』・『英國單語圖解』」

保坂芳男「デニングの English Readers と田中稻城」

小篠敏明「英語教科書のリーダビリティの変遷—新開発指標から見た場合—」

田邊祐司「日本英語音声教育史『英語発音秘訣』の著者菊地武信の足跡を求めて(2)」

《平成21年(2009)》

1月23日 『ニューズレター』No.57を発行。

4月30日 『ニューズレター』No.58を発行。

5月30日 支部総会を開催。平成21・22年度役員は次の通り。

支部長 竹中龍範
副支部長 田村一郎・田村道美・松岡博信
顧問(相談役) 定宗一宏・寺田芳徳・松村幹男
顧問 五十嵐二郎・小泉 凡
理事 上杉 進・小篠敏明・河口 昭・田中正道・築道和明
能登原昭夫・深澤清治・風呂 鞏・村端五郎
事務局長 馬本 勉
幹事 隈 慶秀・中舛俊宏・能登原祥之・保坂芳男
会計監査 鉄森令子・山本勇三

5月30日 『英學史論叢』第12号(通巻32号)を発行。研究論考, 研究ノートは次の3編。

<研究論考>

松村幹男 「英語教授」と「英語教育」—通史に於ける用語変遷小史—

馬本 勉 「広島中学校『英語之基礎』における語彙選定」

<研究ノート>

隈 慶秀 「明治31年の第五高等学校における尋常中学校協議議事録(3)
—五高入試英語成績の概況報告から—」

5月30日 第1回(通算60回)研究例会を安田女子大学にて開催。

研究発表

田中正道(兵庫教育大学名誉教授・広島大学名誉教授)「月刊雑誌『上級英語』を読む」

シンポジウム「新学習指導要領と日本の英語教育：英学史からの提言」

コーディネータ：馬本 勉(県立広島大学)

1. 「明治期の英語教育から」竹中龍範(香川大学)
2. 「パーマーの時代から」小篠敏明(福山平成大学)
3. 「戦後の英語教育から」三浦省五(福山大学)
4. 「第二言語習得研究の歴史から」松岡博信(安田女子大学)

7月28日 『ニューズレター』No.59を発行。

10月31日 『ニューズレター』No.60を発行。

12月12日 第2回(通算61回)研究例会を高梁市文化交流館にて開催。

講演

高見 彰(郷土史家)「備中高梁における英学事情—(備中松山藩を動かした一通の手紙)—」

研究発表

①中村浩路(元岡山商科大学)「「条約改正」と **communicate** (通知する)」

②齊藤泰成(岡山東商業高等学校)「岡山県商業学校の設立と初代校長小田堅立」

③野村勝美(本学会会員)「ロマン・ロランの「序文」—仏語版『出家とその弟子』への—」

④田中正道(広島大学名誉教授)「広島高等師範学校入学試験英語問題にチャレンジ！」

⑤保坂芳男(立命館大学)「H. D. Lelandに関する研究：岩国中学校での教育実践を中心に」

◇第46全国大会は、2009年10月10日～11日、明治学院大学白金キャンパスにて開催。本支部所属会員による研究発表は次の通り。

松村幹男「雑誌『英語教育』について—昭和戦前期英語教育史研究—」

竹中龍範「J. M. Dixon『英和日本学校用会話』をめぐって」

田邊祐司「日本英語音声教育史：杉森此馬の指導観」

◇『英学史研究』第42号(2009年10月1日発行)に掲載された本支部所属会員の論考は次の通り。

竹中龍範「開成所『英吉利単語編』と『対訳名物図編』・『英国単語図解』」

《平成22年(2010)》

1月31日 『ニューズレター』No.61を発行。

4月30日 『ニューズレター』No.62を発行。

5月29日 支部総会を開催。

5月29日 『英学史論叢』第13号(通巻33号)を発行。研究論考、研究ノートは次の5編。

<研究論考>

竹中龍範「新学習指導要領と日本の英語教育—明治期英語教育との比照を通して—」

田邊祐司「日本英語音声教育史：杉森此馬の指導観」

松村幹男「雑誌『英語教育』について—昭和戦前期英語教育史研究—」
＜研究ノート＞

隈 慶秀「明治 31 年の尋常中学校英語科教授法案について—「尋常中学校英語科教授細目」と関連して—」

野村勝美「ロマン・ロランの「序文」—仏語版『出家とその弟子』への—」

5 月 29 日 第 1 回（通算 62 回）研究例会を比治山大学にて開催。

研究発表

- ①田中正道（兵庫教育大学名誉教授・広島大学名誉教授）「哈爾濱学院入学試験英語問題の特徴」
- ②松村幹男（広島大学名誉教授）「広島英語教育協会の設立と活動：昭和戦前期英語教育史研究」

8 月 2 日 『ニューズレター』No.63 を発行。

11 月 5 日 『ニューズレター』No.64 を発行。

12 月 11 日 第 2 回（通算 63 回）研究例会を香川大学教育学部にて開催。

研究発表

- ①保坂芳男（立命館大学）「竹林文庫の英文原稿に関して」
- ②田村道美（香川大学）「カッセル国民文庫」の書誌的研究」

◇第 47 回全国大会は、2010 年 10 月 23 日～24 日、京都大学吉田キャンパスにて開催。本支部所属会員による研究発表は次の通り。

松村幹男「文部省中等部英語講習会：広島開催の事例」

保坂芳男「H. D. Leland に関する研究：岩国中学での教育活動を中心に」

《平成 23 年 (2011)》

1 月 25 日 『ニューズレター』No.65 を発行。

5 月 8 日 『ニューズレター』No.66 を発行。

5 月 28 日 支部総会を開催。平成 23・24 年度役員は次の通り。

支部長 竹中龍範

副支部長 田村一郎・田村道美・松岡博信

顧問（相談役）小篠敏明・定宗一宏・寺田芳徳・松村幹男

顧問 五十嵐二郎・小泉 凡
理事 上杉 進・河口 昭・田中正道・築道和明
能登原昭夫・深澤清治・風呂 鞏
事務局長 馬本 勉
幹事 隈 慶秀・中舛俊宏・能登原祥之・保坂芳男
会計監査 鉄森令子・山本勇三

5月28日 『英學史論叢』第14号(通巻34号)を発行。研究論考は次の3編。
松村幹男「文部省主催中等教員英語講習会—広島開催の事例を中心に—」
隈 慶秀「昭和24年の英語科教員再教育講習会—Virginia Geiger 女史のもたらしたものの—」
保坂芳男「竹林文庫に関する研究—教科書原稿の分析—」

5月28日 第1回(通算64回)研究例会を県立広島大学広島キャンパスにて開催。
研究発表
①安部規子(有明工業高等専門学校)『『英語発音秘訣』の著者・菊池武信の英語習得』
②馬本 勉(県立広島大学)「明治期の英語読本独習書に関する研究:ウィルソン・リーダー独案内を中心として」

10月10日 『ニューズレター』No.67を発行。

11月11日 『ニューズレター』No.68を発行。

12月10日 第2回(通算65回)研究例会を津山洋学資料館にて開催。
特別講演
下山純正(津山洋学資料館館長)「内科医学から自然科学へ:江戸蘭学界をリードした津山藩医宇田川家三代の活躍」
研究発表
①山田宗八(山田共学道場)「津山英学の源流をさぐる:蘭学から英学へ」
②能登原昭夫(元山陽学園大学)「おかやま英学の「流れ」と「つながり」:
『おかやま英学史』出版をめざして」

◇第48回全国大会は、2011年10月8日~9日、東京家政大学板橋キャンパスにて開催。本支部所属会員による研究発表は次の通り。
保坂芳男「H. D. Lelandに関する研究(2):リーランドの日記の分析を中心に」

《平成 24 年 (2012)》

1 月 30 日 『ニューズレター』 No.69 を発行。

5 月 5 日 『ニューズレター』 No.70 を発行。

5 月 26 日 支部総会を開催。

5 月 26 日 『英學史論叢』 第 15 号 (通巻 35 号) を発行。松村幹男先生・田村一郎先生追悼号。研究ノートは次の 2 編。

＜研究ノート＞

隈 慶秀「新制高校で求められた英語学力—昭和 20 年代後期英語教育史—」

保坂芳男「竹林文庫に関する研究 (2)—翻訳原稿の分析—」

5 月 26 日 第 1 回 (通算 66 回) 研究例会を県立広島大学広島キャンパスにて開催。
研究発表

① 田中正道 (広島大学名誉教授)「陸軍士官学校入学試験英語問題にトライ！」

② 野村勝美 (日本英学史学会中国・四国支部会員)『出家とその弟子』の「序曲」—
原文と英仏訳文との比較考察—

9 月 7 日 『ニューズレター』 No.71 を発行。

11 月 11 日 『ニューズレター』 No.72 を発行。

12 月 8 日 第 2 回 (通算 67 回) 研究例会を今治明德高等学校矢田分校にて開催。

研究発表

① 藤本文昭 (今治明德高等学校矢田分校)「太平洋戦争下の愛媛県今治地域での英語教育」

② 菅 紀子 (松山大学)「今治出身の重見周吉と『日本少年』」

◇ 第 49 回全国大会は、2012 年 10 月 20 日～21 日、和歌山大学教育学部にて開催。

本支部所属会員による研究発表は次の通り。

田邊祐司「日本英語音声教育史：大谷正信のもうひとつの功績」

《平成 25 年 (2013)》

1 月 31 日 『ニューズレター』 No.73 を発行。

5月9日 『ニューズレター』No.74 を発行。

5月25日 支部総会を開催。平成25・26年度役員は次の通り。

支部長： 田村道美

副支部長： 上杉 進・竹中龍範・松岡博信

顧問（相談役）小篠敏明・定宗一宏・寺田芳徳

顧問： 五十嵐二郎・小泉 凡

理事： 馬本 勉・河口 昭・田中正道・築道和明・鉄森令子
能登原昭夫・深澤清治・風呂 鞏・保坂芳男

事務局長： 馬本 勉

幹事： 隈 慶秀・中舛俊宏・能登原祥之・藤本文昭

会計監査： 堂鼻康晴・平本哲嗣

5月25日 『英學史論叢』第16号（通巻36号）を発行。研究論考は次の3編。

<研究論考>

竹中龍範「入江祝衛『英文法辞典』をめぐって—隠れたコロケーション辞典—」

野村勝美「『出家とその弟子』の「序曲」—原文と英仏訳文との比較考察—」

藤本文昭「太平洋戦争下の愛媛県今治地域での英語教育」

5月25日 第1回（通算68回）研究例会を安田女子大学にて開催。

研究発表

①隈 慶秀（福岡県立明善高等学校）「大正10年の英語授業視察（福岡・佐賀・長崎）について：防長教育会委託學事視察復命書より」

②安部規子（有明工業高等専門学校）「京城中学校の英語教育について：中学修猷館との関わりを中心に」

10月8日 『ニューズレター』No.75 を発行。

11月22日 『ニューズレター』No.76 を発行。

12月14日 第2回（通算69回）研究例会を山口市歴史民俗資料館にて開催。

講演

小山良昌（山口県地方史学会長・元毛利博物館館長）「杉孫七郎の渡欧と長州ファイブ」

研究発表

上杉 進（元高水高等学校）「松下村塾最後の塾生 正木退蔵と吉田寅次郎」

◇第 50 回全国大会は、2013 年 9 月 28 日～29 日、慶応義塾大学三田キャンパスにて開催。本支部所属会員による研究発表は次の通り。

馬本 勉「英学独習書に見る英語学習の諸相」

《平成 26 年 (2014)》

1 月 31 日 『ニューズレター』 No.77 を発行。

5 月 10 日 『ニューズレター』 No.78 を発行。

5 月 24 日 支部総会を開催。

5 月 24 日 『英學史論叢』第 17 号（通巻 37 号）を発行。「日本英学史学会広島支部及び中国・四国支部 研究例会の歩み」を掲載。寺田芳徳先生追悼号。研究ノートは次の 1 編。

<研究ノート>

安部規子「日本統治下の朝鮮における中学校とその英語教育について」

5 月 24 日 第 1 回(通算 70 回)研究例会をサテライトキャンパスひろしまにて開催。シンポジウム「英学史研究とこれからの英語教育」(コーディネータ 馬本 勉)
問題提起「中学校・高等学校の教育現場から」鉄森 令子 (広島県立祇園北高等学校)
提案(1)「教師と生徒が触れる英文を考える」能登原 祥之 (同志社大学)
提案(2)「教室での実践史にヒントを求める」隈 慶秀 (福岡県立明善高等学校)
提案(3)「訳読史とアクティブ・ラーニング」馬本 勉 (県立広島大学)
指定討論「教員養成の側から歴史研究をみる」保坂 芳男 (拓殖大学)

10 月 10 日 『ニューズレター』 No.79 を発行。

11 月 20 日 『ニューズレター』 No.80 を発行。

12 月 13 日 第 2 回 (通算 71 回) 研究例会を香川大学教育学部にて開催。

研究発表

- ①田村道美 (香川大学名誉教授)「漱石と The Lotus Library (4) — *The Nabob* の書き込みを中心に—」
- ②松岡博信 (安田女子大学)「中浜万次郎が果たした教育的役割—開成所から開成学校を中心に—」

◇第 51 回全国大会は、2014 年 10 月 18 日～19 日、福井大学文京キャンパスにて開催。本支部所属会員による研究発表は次の通り。

馬本 勉「独習書の分析を通じた訳読の変遷に関する研究」

奥村紀子「オバマのオバマ（日米地域間交流）」

《平成 27 年 (2015)》

1 月 30 日 『ニューズレター』No.81 を発行。

5 月 5 日 『ニューズレター』No.82 を発行。

5 月 23 日 支部総会を開催。平成 27・28 年度役員は次の通り。

支部長： 田村道美

副支部長： 上杉 進・竹中龍範・松岡博信

顧問（相談役）小篠敏明

顧問： 五十嵐二郎・小泉 凡・田中正道

理事： 馬本 勉・河口 昭・築道和明・鉄森令子

能登原昭夫・深澤清治・風呂 鞏・保坂芳男

事務局長： 馬本 勉

幹事： 隈 慶秀・中舛俊宏・能登原祥之・藤本文昭

会計監査： 堂鼻康晴・平本哲嗣

5 月 23 日『英学史論叢』第 18 号（通巻 38 号）を発行。定宗一宏先生追悼号。

研究論考，資料紹介は次の 2 編。

<研究論考>

田村道美「漱石と The Lotus Library (4)—The Nabob の書き込みを中心に—」

<資料紹介>

隈 慶秀「大正 10 年の英語授業視察（福岡・佐賀・長崎）—防長教育會委託學事視察復命書より—」

5 月 23 日 第 1 回（通算 72 回）研究例会を安田女子大学にて開催。

講演

田中正道（広島大学名誉教授）「英学史研究と私」

研究発表

古川正昭（広島ラフカディオ・ハーンの会）「小泉八雲のオープン・マインド，
広高師 浅地昇先生を通して継承」

9月27日 『ニューズレター』 No.83 を発行。

11月22日 『ニューズレター』 No.84 を発行。

12月12日 第2回（通算73回）研究例会を福山大学宮地茂記念館にて開催。

講演

小篠敏明（福山平成大学）「歴史研究と ICT 技術の交わり—英語教育史研究のひとつの姿—」

研究発表

河村和也（東京電機大学）「新制高等学校発足期の入学者選抜における英語の位置付けについて：高知県を例に」

◇第52回全国大会は、2015年10月24日～25日、拓殖大学文京キャンパスにて開催。本支部所属会員による研究発表は次の通り。

馬本 勉 「ユニオン読本独習書に関する研究」

菅 紀子 「新渡戸稲造の晩年—松山事件を中心として—」

佐古敏子 「幕末から明治初期における英文典に関する一考察

—Participial Construction に纏わる概念と訳語の変遷を中心に—」

◇『英学史研究』第48号（2015年10月1日発行）に掲載された本支部所属会員の論考は次の通り。

保坂芳男 「京都の番組小学校における英語教育：その実態の解明に向けて」

《平成28年（2016）》

1月31日 『ニューズレター』 No.85 を発行。

5月5日 『ニューズレター』 No.86 を発行。